

# (仮称) 千葉県こども計画策定に係るこどもの意見反映のための調査結果 〈概要版〉

## 1. 調査概要

### (1) 調査目的

- 「(仮称) 千葉県こども計画」策定に当たり、計画の内容にこどもの意見を反映するために、こどもの意見を幅広く聴取すること。

### (2) 調査対象

- 千葉県内の調査協力校 155 校に通う小学 5 年生～高校 3 年生 約 50,000 人
- 地域ごとに小・中・高の調査数の割合を按分比例により算出しランダムに選定
- 得られた回答数は 35,330 件 (チラシ配布数の約 7 割)

表 学校種別調査対象者数 (チラシ配布数・調査対象校数)

学校種別	チラシ配布数	対象校数
小学校	13,680	80
中高計	36,220	75
中学校 (公)	18,910	49
中学校 (私)	810	2
高校 (公)	9,920	16
高校 (私)	6,580	8
合計	49,900	155

表 属性別回答者数

学年	回答数
小学生	10,607
小学 5 年生	5,394
小学 6 年生	5,213
中学生	14,293
中学 1 年生	4,993
中学 2 年生	4,592
中学 3 年生	4,708
高校生	10,430
高校 1 年生	4,103
高校 2 年生	3,384
高校 3 年生	2,943
合計	35,330

性別	回答数
男	17,892
女	16,598
その他	840
合計	35,330

世帯人員(本人含む)	回答数
2 人以下	921
1 人	50
2 人	871
3 人以上	33,985
3 人	6,079
4 人	15,937
5 人	8,049
6 人以上	3,920
その他	424
合計	35,330

### (3) 調査期間

- 令和 6 年 7 月 1 日から令和 6 年 7 月 17 日までの約 2 週間にかけて行った。期間内の回答が難しい学校に対しては期間を延長し対応した。

### (4) 調査方法

- アンケートは Google Forms にて実施した。

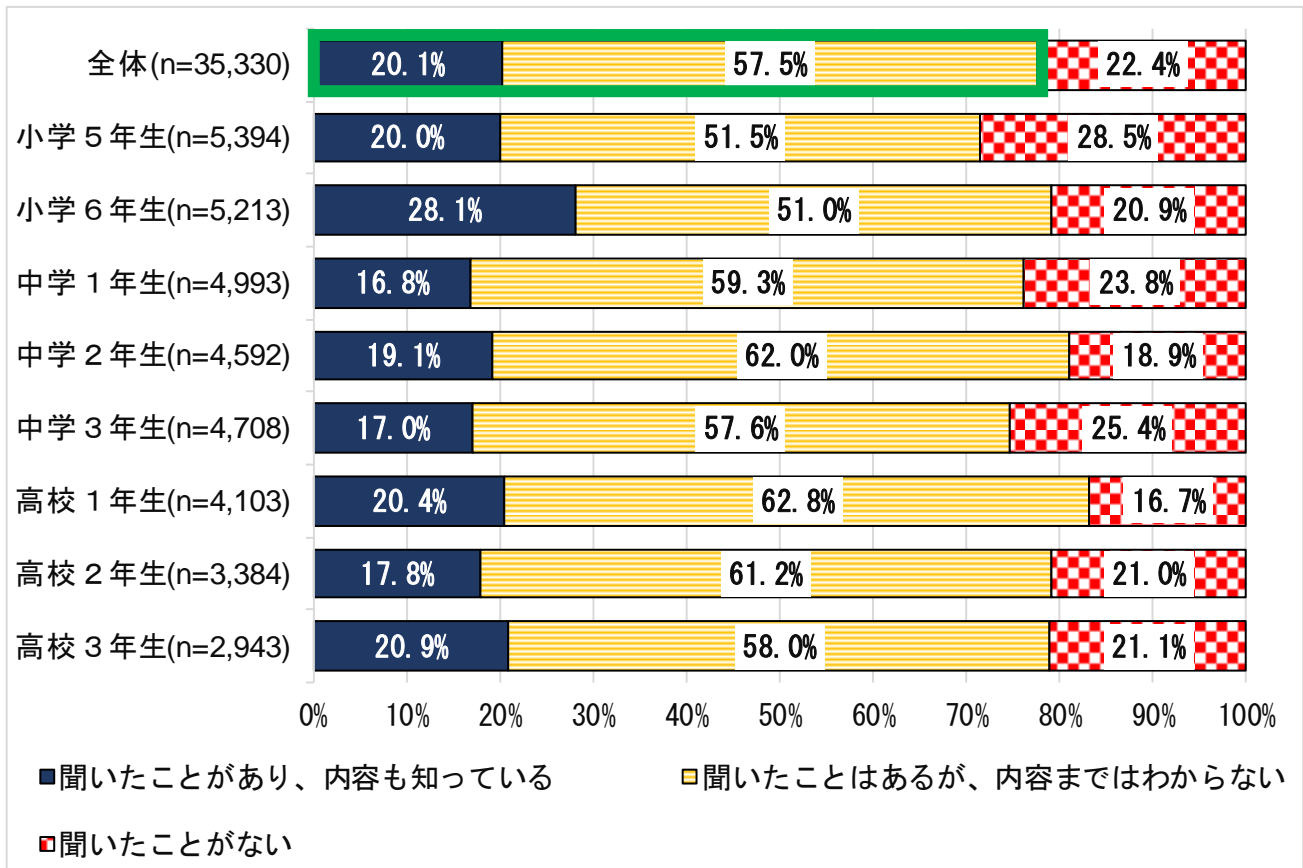
## 2. 調査結果の概要

### (1) こどもの権利の認知度

問 あなたはこどもの権利について知っていますか？

- 「こどもの権利」について、**聞いたことがある児童・生徒：約78%**
- そのうち、内容も知っている児童・生徒：約20%

図 こどもの権利の認知度



#### クロス集計の特徴的な結果

- いずれの学年においても聞いたことがない児童・生徒：約2割

※【こどもの権利条約のいわゆる4つの原則】

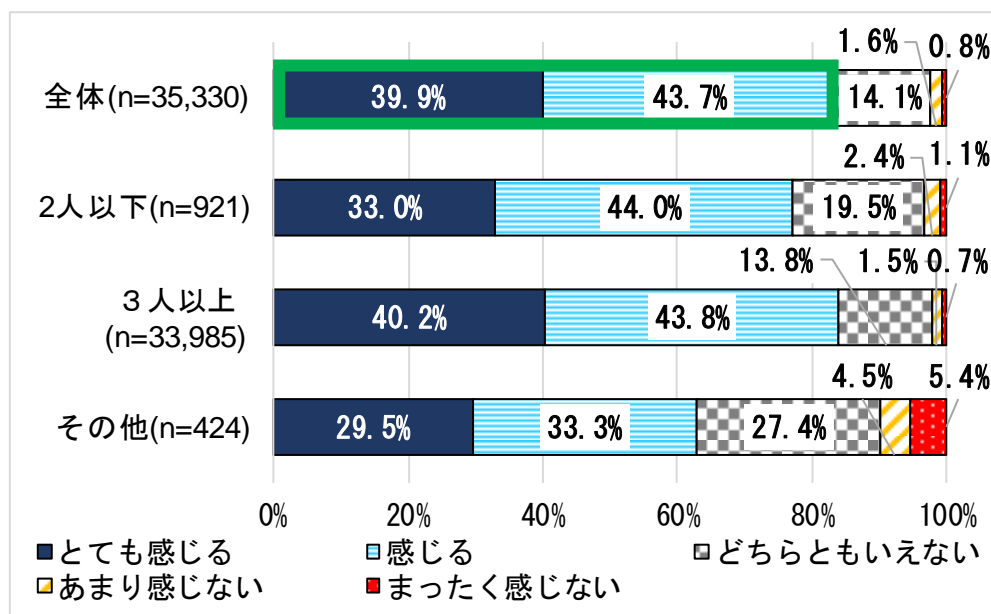
①生命、生存及び発達に対する権利    ②子どもの最善の利益    ③子どもの意見の尊重    ④差別の禁止

## (2) 生命生存及び発達に対する権利の感じ方

問 あなたは、まわりの大人があなたの心も体も大事にしてくれていると感じますか？

- **「生命生存及び発達に対する権利」が守られていると感じる児童・生徒：約 84%**

図 生命生存及び発達に対する権利の感じ方



### クロス集計の特徴的な結果

- 世帯人員「2人以下」「その他」の児童・生徒：生命生存及び発達に対する権利が守られていると感じると回答した割合は比較的低い。

### 【自由記述回答について】

- 自由記述の分析について、設問内容・回答内容の属性からそれぞれの設問に適したカテゴリを設定し、分類を行った。
- 複数のカテゴリに属する回答を対象にカテゴリ間の関連度を見出すため、カテゴリ同士のクロス集計を実施した。
- クロス集計の結果について、それぞれのカテゴリの回答数と関連度を直感的に把握できるように各カテゴリを円で表し、関連度が一定以上あるカテゴリを直線で結ぶ模式図を作成した。模式図は、カテゴリの回答数が円の大きさ、カテゴリごとの相関性（直線でつながれた2つのカテゴリに分類されている回答数）を直線の太さで表している。

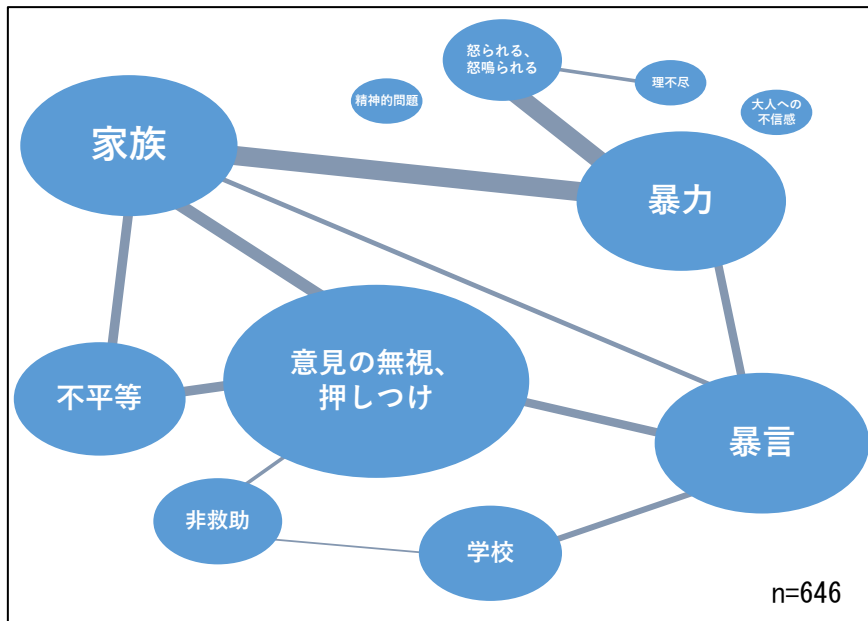
● 自由記述の具体的回答

～生命生存及び発達に対する権利の侵害・軽視を感じる理由～

権利が守られていると「感じない」と回答した837人のうち、理由について回答した人数 646人

記述内容（原文を引用）	主なカテゴリ	学年	性別	世帯人員
親に相談をしても、話を最後まで聞いてくれない。アドバイス？しかしてくれない	● 家族 ● 意見の無視、押しつけ	小学6年生	女	3
女の子らしく振る舞うというのを無理やりされている感じ	● 意見の無視、押しつけ	中学1年生	その他	6
虐待を受けたとき	● 暴力 ● 家族	中学2年生	男	2
お母さんがたまにすごく怒ると殴られることがあるから	● 暴力 ● 家族	小学5年生	男	5
お父さんが怒り、家から閉め出された時。	● 暴力 ● 家族 ● 怒られる、怒鳴られる	小学6年生	男	4

図 カテゴリ間関連度の模式図 ～生命生存及び発達に対する権利の侵害・軽視を感じる理由～



カテゴリの設定・分類

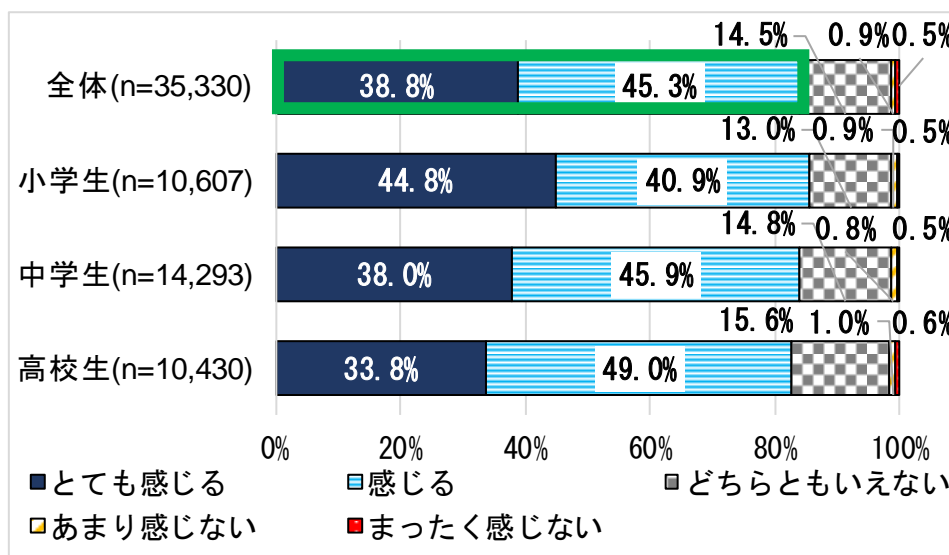
- ① 家族…両親や兄弟等、家族に関する記述内容
- ② 学校…学校生活や教師等、学校に関する記述内容
- ③ 暴力…大人から暴力を加えられた経験等に関する記述内容
- ④ 暴言…大人から暴言を言われた経験等に関する記述内容
- ⑤ 不平等…大人からの扱いに他者と差を感じる等、不平等を感じる経験等に関する記述内容
- ⑥ 非救助…大人からの救助・援助を得られなかった経験等に関する記述内容
- ⑦ 意見の無視、押しつけ…回答者自身の意見の無視、もしくは大人から意見を押し付けられた経験等に関する記述内容
- ⑧ 理不尽…大人から理不尽な扱いを受けた経験等に関する記述内容
- ⑨ 大人への不信感…大人への不信感に関する記述内容
- ⑩ 怒られる、怒鳴られる…大人から怒られた経験、怒鳴られた経験等に関する記述内容
- ⑪ 精神的問題…大人と接する中で感じる精神的ストレスや自身の精神問題等に関する記述内容

### (3) 子どもの最善の利益の感じ方

問 あなたは、まわりの大人が、あなたにとって良いことは何かを考えて行動してくれていると感じますか？

- 「子どもの最善の利益」が守られていると感じる児童・生徒：約84%

図 子どもの最善の利益の感じ方



#### クロス集計の特徴的な結果

- 学年が上がるにつれて子どもの最善の利益が守られていると感じると回答した割合は比較的低くなる。

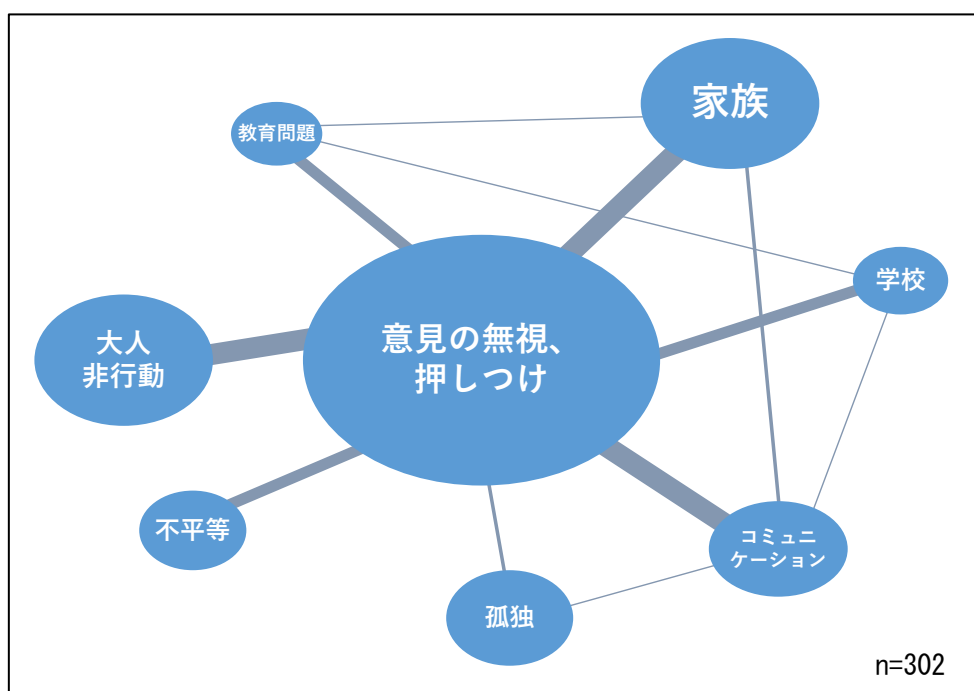
● 自由記述の具体的回答

～子どもの最善の利益の侵害・軽視を感じる理由～

権利が守られていると「感じない」と回答した494人のうち、理由について回答した人数302人

記述内容（原文を引用）	主なカテゴリ	学年	性別	世帯人員
話を聞いてくれないから。	● コミュニケーション ● 意見の無視、押しつけ	高校1年生	その他	4
意見が通らない	● 意見の無視、押しつけ	高校2年生	その他	4
自分の夢を危険だやめろと否定された	● 意見の無視、押しつけ ● 大人非行動	小学6年生	男	2
父親の理不尽	● 家族 ● 意見の無視、押しつけ	小学6年生	男	3
子供のお手本になるはずの大人の態度や言葉遣いをみると感じない	● 大人非行動	中学1年生	女	5

図 カテゴリ間関連度の模式図 ～子どもの最善の利益の侵害・軽視を感じる理由～



カテゴリの設定・分類

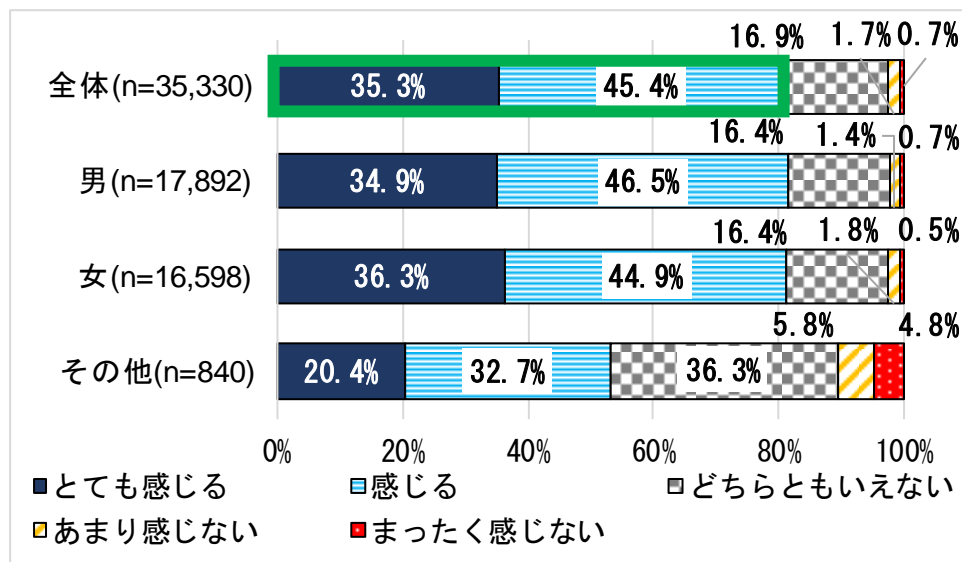
- ①家族…両親や兄弟等、家族に関する記述内容
- ②学校…学校生活や教師等、学校に関する記述内容
- ③コミュニケーション…コミュニケーション不足等に関する記述内容
- ④教育問題…進学や昨今の教育問題、教育体制等に関する記述内容
- ⑤孤独…回答者自身の孤独だと感じた経験に関する記述内容
- ⑥不平等…不平等な扱いを受けた経験や不公平を感じた経験等に関する記述内容
- ⑦意見の無視、押しつけ…意見の無視、もしくは大人から意見を押し付けられた経験等に関する記述内容
- ⑧大人非行動…周囲の大人が行動していない、もしくは模範的でない行動を行っている等の記述内容

#### (4) 子どもの意見の尊重の感じ方

問 あなたは、まわりの大人があなたの意見をきいてくれていると感じますか？

- 「子どもの意見の尊重」が守られていると感じる児童・生徒：約81%

図 こどもの意見の尊重の感じ方



#### クロス集計の特徴的な結果

- 性別「その他」の児童・生徒は、意見の尊重を感じているという回答割合が比較的低い。

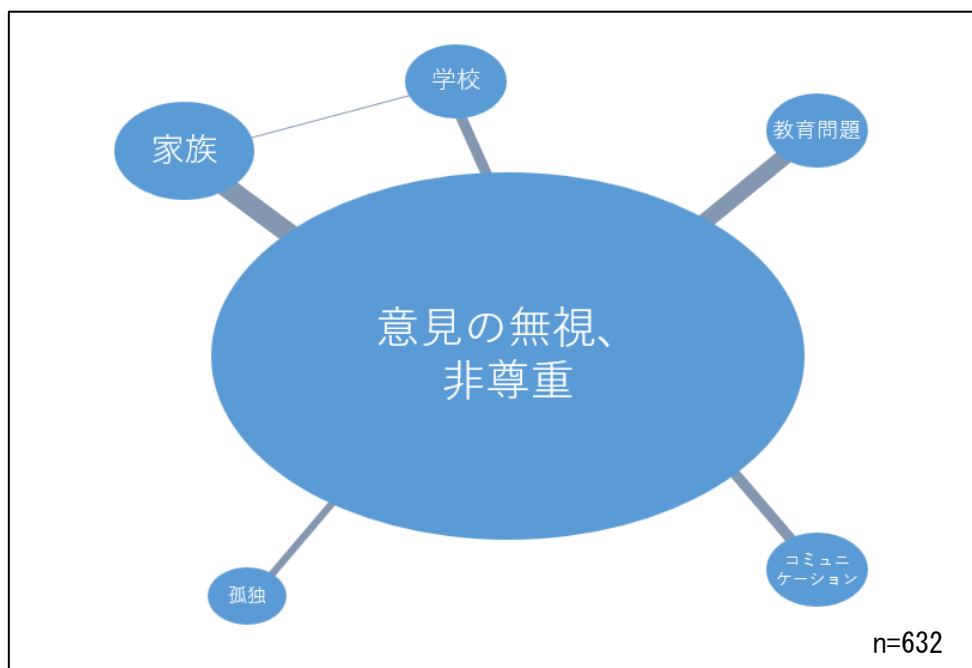
● 自由記述の具体的回答

～子どもの意見の尊重の侵害・軽視を感じる理由～

権利が守られていると「感じない」と回答した 856 人のうち、理由について回答した人数 632 人

記述内容（原文を引用）	主なカテゴリ	学年	性別	世帯人員
先生が間違えてしまったときに指摘したら怒鳴られたという話を友達から聞いたこと	● 学校 ● 意見の無視、非尊重	高校2年生	その他	7
女だが男の格好がしたい。親は許してくれない。	● 家族 ● 意見の無視、非尊重	高校3年生	女	4
子供の意見を聞かずに勝手に部活動を地域クラブにしようとしていること	● 意見の無視、非尊重 ● 教育問題	中学2年生	女	3
あっそのちな感じで流されるから大人を信用することができない。	● 意見の無視、非尊重 ● 孤独	中学2年生	女	3
大人の意見を優先しているから	● 意見の無視、非尊重	中学2年生	女	4

図 カテゴリ間関連度の模式図 ～子どもの意見の尊重の侵害・軽視を感じる理由～



カテゴリの設定・分類

- ①意見の無視、非尊重…意見の無視、尊重されていない経験等に関する記述内容
- ②家族…両親や兄弟等、家族に関する記述内容
- ③教育問題…進学や昨今の教育問題、教育体制等に関する記述内容
- ④コミュニケーション…コミュニケーション不足等に関する記述内容
- ⑤学校…学校生活や教師等、学校に関する記述内容
- ⑥孤独…回答者自身の孤独だと感じた経験に関する記述内容

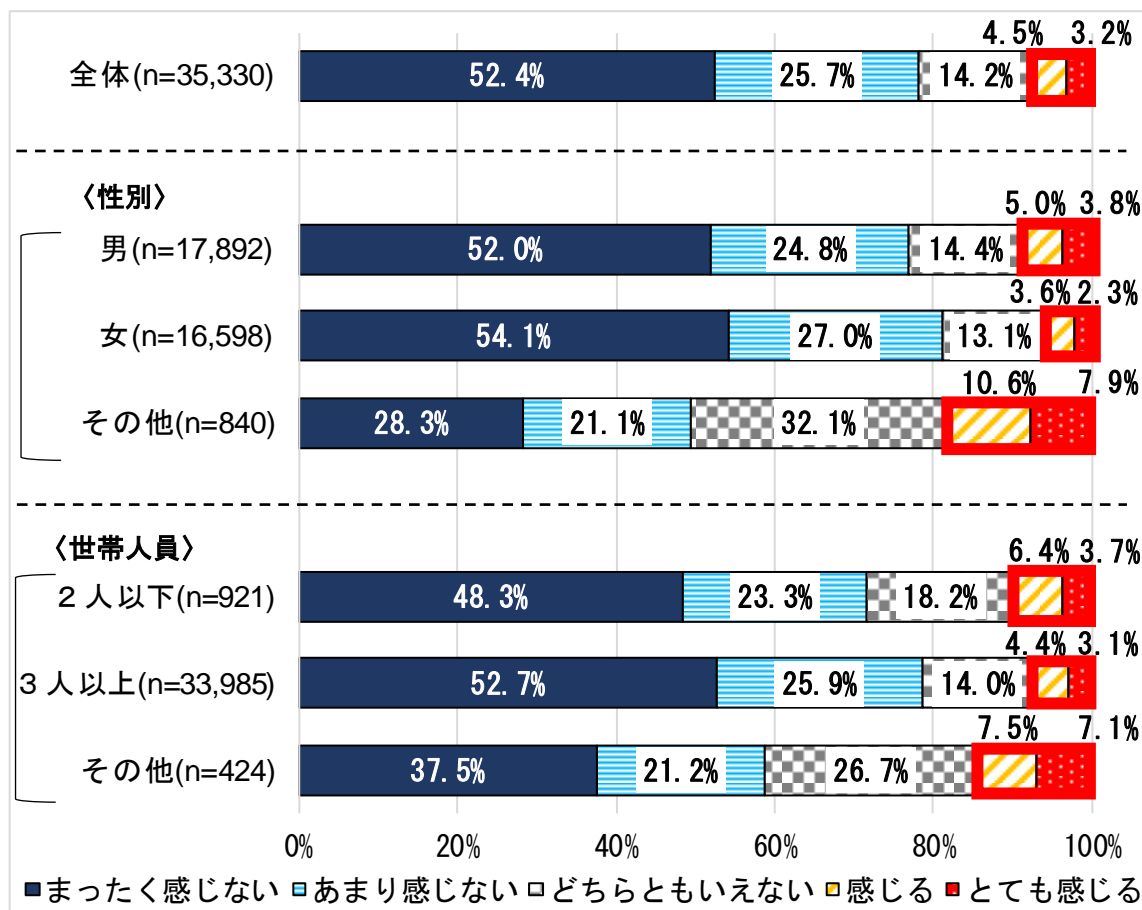


## (5) 差別的な扱いの感じ方

問 あなたは、まわりからあなた自身の見た目や性別、家のことなどで嫌なことを言われたり、嫌なことをされていると感じますか？

- 「差別的な扱いを受けている」と感じる児童・生徒：約 7.7%

図 差別的な扱いの感じ方

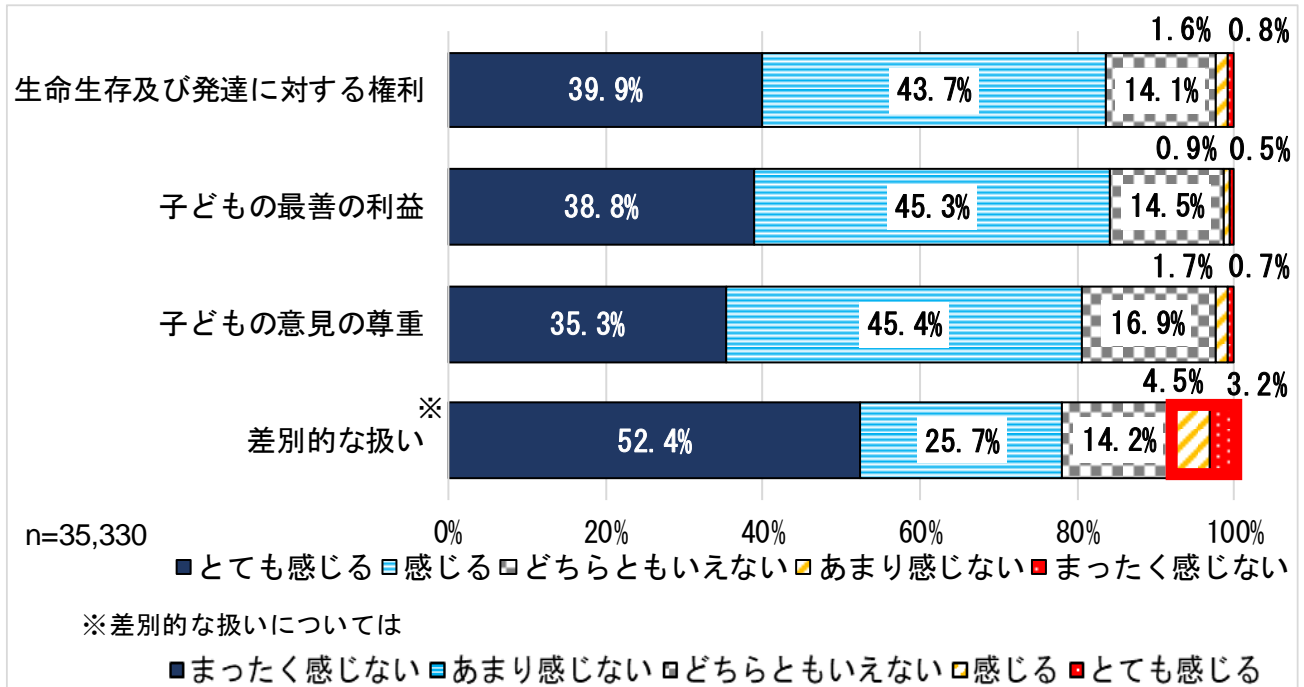


### クロス集計の特徴的な結果

- 性別「その他」は、差別的な扱いを感じるという割合は約 18%と、他の属性と比べて高い。
- 男女で比べると、差別的な扱いを感じるという割合は「男」の方が高い。
- 世帯人員「2人以下」「その他」は、差別的な扱いを感じるという割合は比較的高い。

- 「差別の禁止」について、権利が守られていないと感じる児童・生徒の割合は4つの権利の原則の中で最も高い。

図 こどもの権利の4つの原則の感じ方



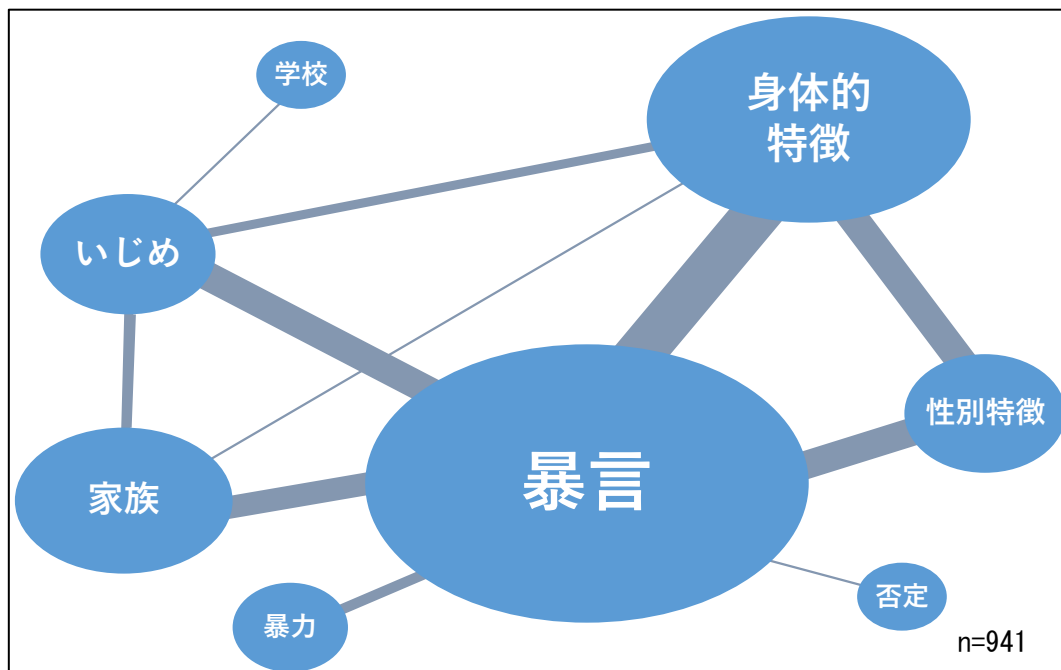
● 自由記述の具体的回答

～差別の禁止の侵害・軽視を感じる理由～

差別的な扱いを受けていると感じると回答した2,691人のうち、理由について回答した人数941人

記述内容（原文を引用）	主なカテゴリ	学年	性別	世帯人員
女の子だから、のようなことを言われたとき	● 性別特徴 ● 暴言	小学6年生	その他	4
容姿に関する悪口を言われている時	● 身体的特徴 ● 暴言	中学3年生	男	4
肌が黒いと言われた時	● 身体的特徴 ● 暴言	高校3年生	女	4
親が容姿をバカにしてくる	● 家族 ● 暴言	中学2年生	女	4
自分の嫌なあだ名で呼ばれる	● 暴言	小学6年生	男	3

図 カテゴリ間関連度の模式図 ～差別の禁止の侵害・軽視を感じる理由～



カテゴリの設定・分類

- ① 暴言・・・暴言を言われた経験等に関する記述内容
- ② 身体的特徴・・・身体的特徴に関する記述内容
- ③ 家族・・・両親や兄弟等、家族に関する記述内容
- ④ いじめ・・・一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じている経験等に関する記述内容
- ⑤ 性別特徴・・・性自認や性別的な特徴に関する記述内容
- ⑥ 暴力・・・暴力を加えられた経験等に関する記述内容
- ⑦ 学校・・・学校生活や教師等、学校に関する記述内容
- ⑧ 否定・・・意見や考え方、存在等を否定された経験等に関する記述内容

(6) 子どもの権利を守るためにあると良い仕組み（複数選択式3つまで）

- 「子どもの権利について、学校などでもっと学べる機会をふやす」と回答した児童・生徒が最も多く、約48%

図 子どもの権利を守るためにあると良い仕組み（複数選択）

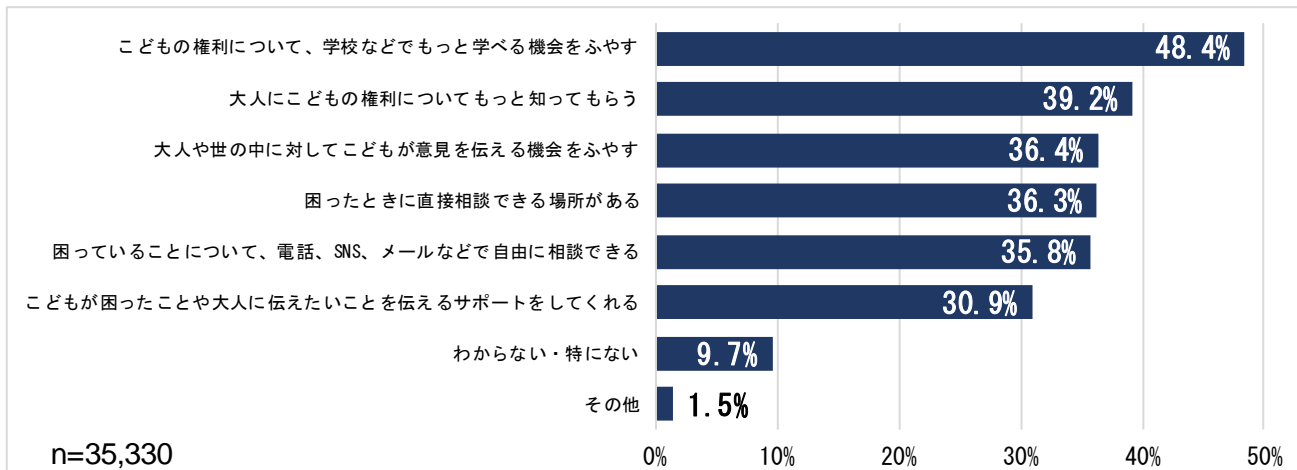
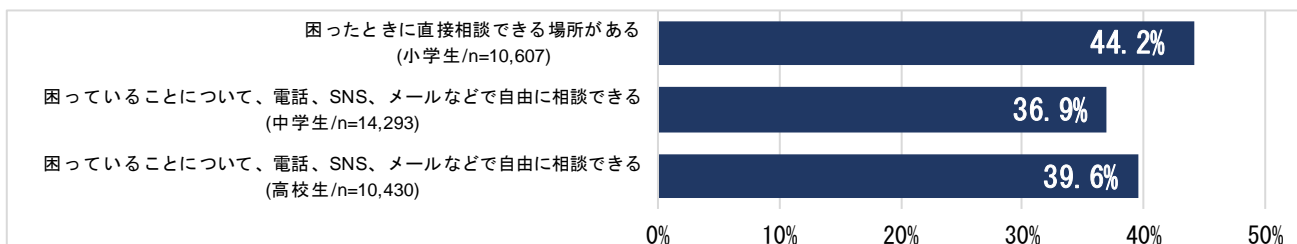


図 学年別 子どもの権利を守るためにあると良い仕組み（複数選択・一部抜粋）



クロス集計の特徴的な結果

- **小学生は「困ったときに直接相談できる場所がある」**を選択する割合が全体に比べて高い。(約44%)
- **中高生は「困っていることについて、電話、SNS、メールなどで自由に相談できる」**を選択する割合が全体に比べて高い。(中学生約37%、高校生：約40%)

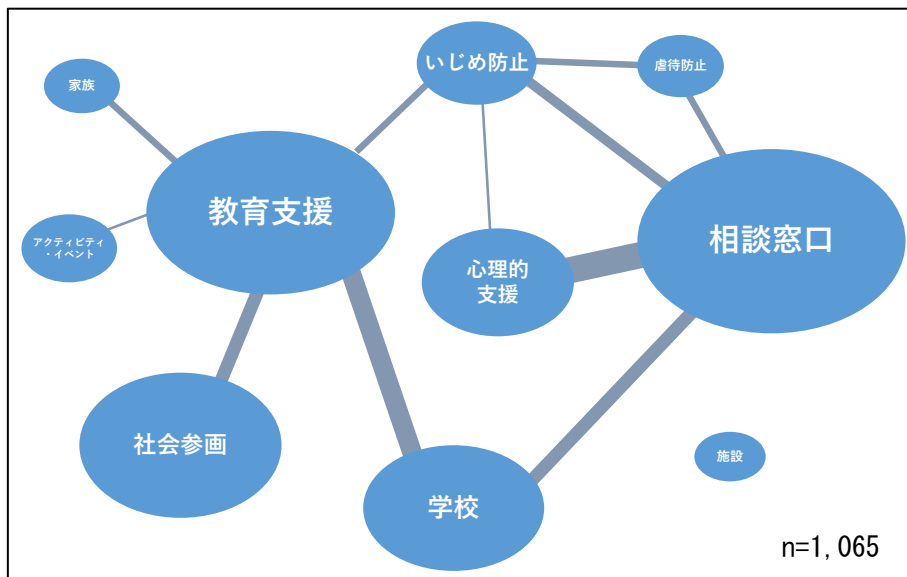
● 自由記述の具体的回答

～こどもの権利を守るためにあると良い仕組み～

その他あると良いと思う仕組みについて回答した人数 1,065 人

記述内容（原文を引用）	主なカテゴリ	学年	性別	世帯人員
子供が親へ伝えたいことの仲介をしてもらえるサービス。（養護教諭の先生などが）	● 相談窓口 ● 心理的支援	小学6年生	女	4
強制的にカウンセラーの人とみんなが話せるようにしたほうが良いと思う。 なぜなら言いたいことがあっても、なかなか言い出せない人がたくさんいると思うから。	● 相談窓口 ● 心理的支援	中学2年生	男	5
授業参観の日に子どもの権利について学習する。	● 学校 ● 教育支援	小学6年生	女	4
男女関係なく公平に学校生活、学習したい	● 学校 ● 教育支援	小学6年生	女	4
政治に関わる人に、子どもの意見を伝える機会。	● 社会参画	小学6年生	男	4

図 カテゴリ間関連度の模式図 ～こどもの権利を守るためにあると良い仕組み～



カテゴリの設定・分類

- ①相談窓口…こどもが相談できるサービスや場所等に関する記述内容
- ②教育支援…こどもの権利についての教育支援に関する記述内容
- ③社会参画…こどもの社会参画に関する記述内容
- ④学校…学校生活や教師等、学校に関する記述内容
- ⑤心理的支援…ストレス等への心理的な支援に関する記述内容
- ⑥いじめ防止…いじめ防止の活動・取り組み等に関する記述内容
- ⑦アクティビティ・イベント…アクティビティやイベントに関する記述内容
- ⑧虐待防止…虐待防止の活動に関する記述内容
- ⑨家族…両親や兄弟等、家族に関する記述内容
- ⑩施設…こどもが利用できる公共施設に関する記述内容

(7) 将来の希望（複数選択式5つまで）

- 将来は「好きなことをすごしている」と回答した児童・生徒が最も多く、**約63%**

図 将来の希望（複数選択）

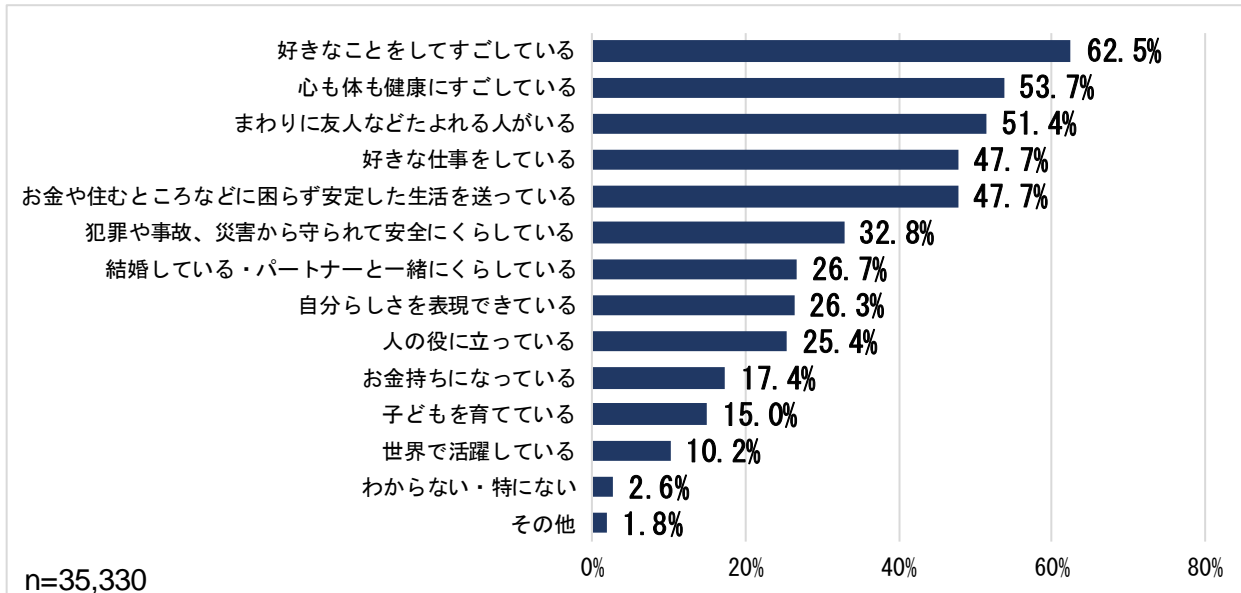
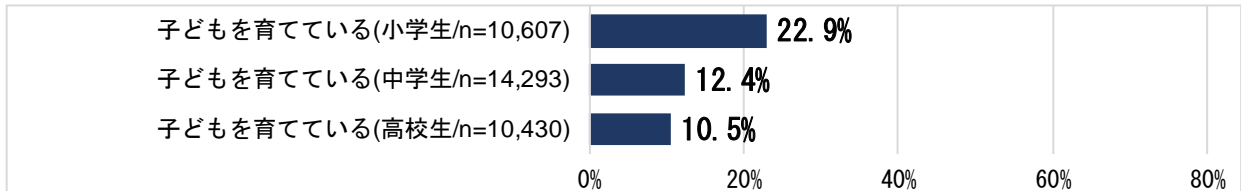


図 学年別 将来の希望（「子どもを育てている」を選択した割合を抜粋）



クロス集計の特徴的な結果

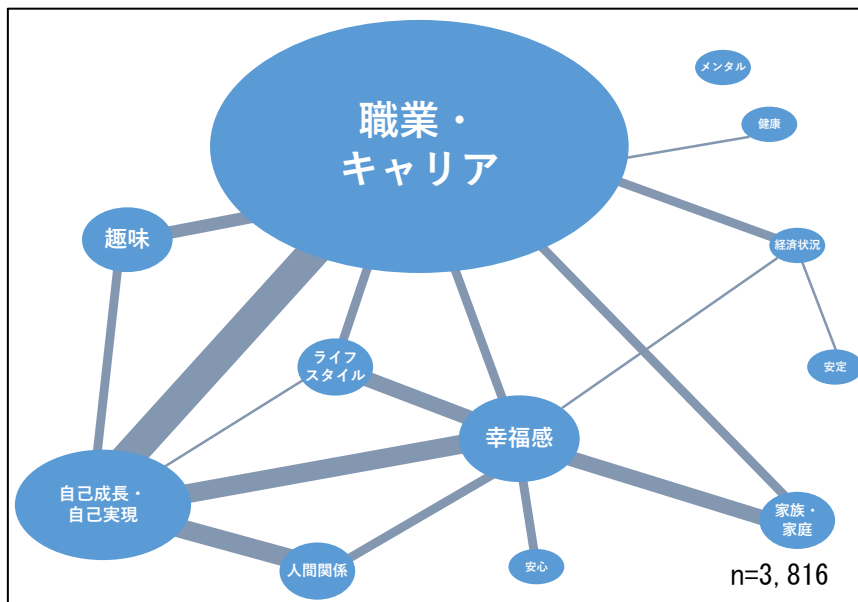
- 学年が上がるにつれて「子どもを育てている」状態にいたいと思う人の割合が低くなる。  
(小学生約23%、中学生約12%、高校生約11%)

● 自由記述の具体的回答  
～将来の希望～

その他に将来なっていたいものについて回答した人数 3,816 人

記述内容（原文を引用）	主なカテゴリ	学年	性別	世帯人員
野球選手	● 職業・キャリア	小学6年生	男	4
人を喜ばせる仕事をしたい	● 職業・キャリア ● 自己成長・自己実現	中学2年生	女	5
農業界に革命を起こす。	● 職業・キャリア ● 自己成長・自己実現	高校2年生	男	4
自分のなりたいこと、やりたいことをちゃんとやっている	● 自己成長・自己実現	小学6年生	女	5
夢を叶える	● 自己成長・自己実現	中学1年生	女	4

図 カテゴリ間関連度の模式図 ～将来の希望～



カテゴリの設定・分類

- ①職業・キャリア…回答者自身の将来就きたい職業・キャリアに関する記述内容
- ②自己成長・自己実現…回答者自身が将来ありたい姿に関する記述内容
- ③幸福感…幸せに過ごすことに関する記述内容
- ④趣味…趣味に励むことに関する記述内容
- ⑤ライフスタイル…理想のライフスタイルに関する記述内容
- ⑥家族・家庭…両親や兄弟等、家族や家庭に関する記述内容
- ⑦人間関係…将来どのような人間関係を望んでいるかに関する記述内容
- ⑧経済状況…将来どのような経済状況を望んでいるかに関する記述内容
- ⑨安心…安心して過ごすことに関する記述内容
- ⑩健康…健康に過ごすことに関する記述内容
- ⑪安定…安定に過ごすことに関する記述内容
- ⑫メンタル…ストレス等メンタル面に関する記述内容

(8) 安心して自分らしく暮らすために必要なこと (複数選択式 5 つまで)

- 「家や学校で安心して過ごせる」と回答した児童・生徒が最も多く、約 50%

図 安心して自分らしく暮らすために必要なこと (複数選択)

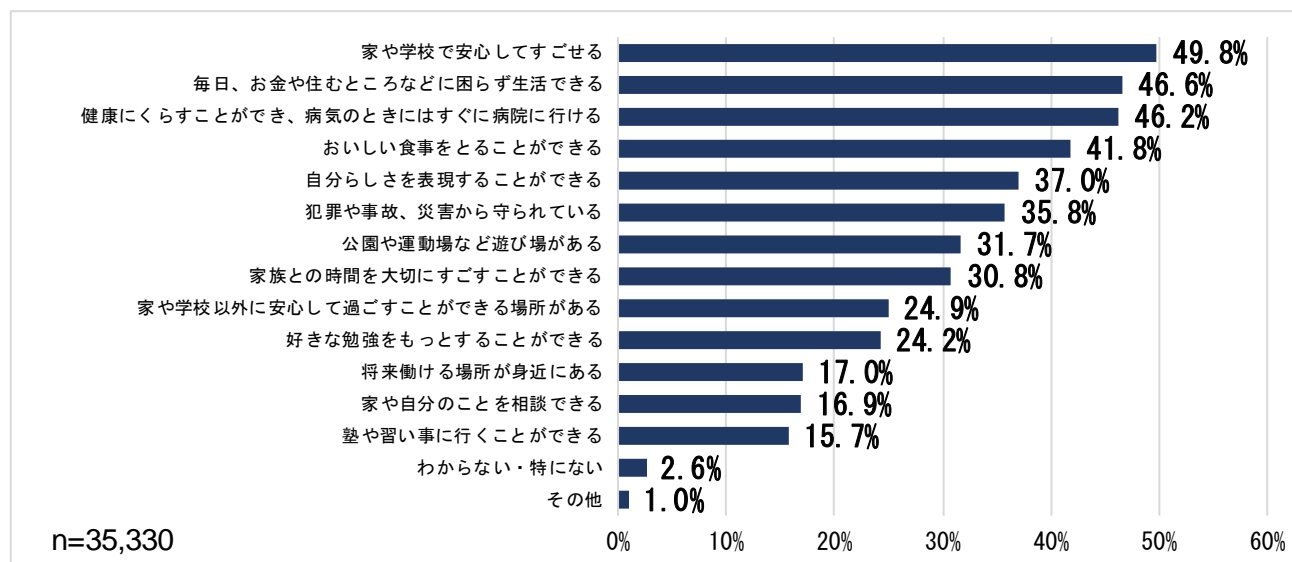
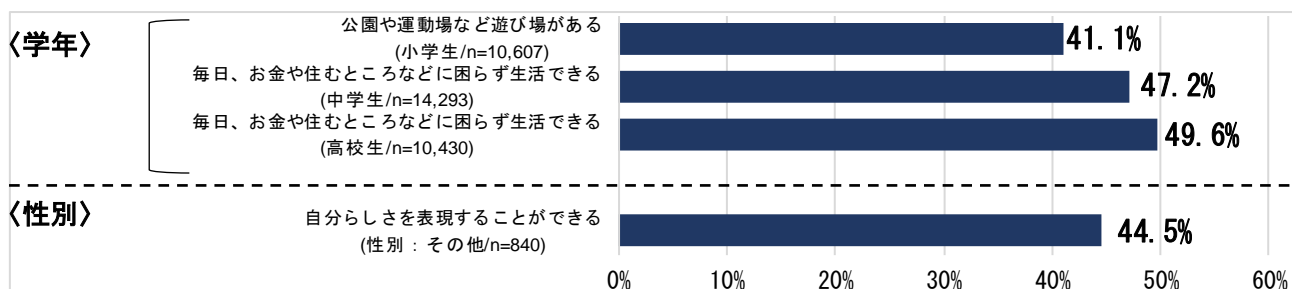


図 学年別および性別 安心して自分らしく暮らすために必要なこと (複数選択・一部抜粋)



クロス集計の特徴的な結果

- **小学生**は「公園や運動場など遊び場がある」を選択する割合が全体に比べて高い。(約 41%)
- **中高生**は「毎日、お金や住むところに困らず生活できる」を選択する割合が全体に比べて高い。(中学生約 47%、高校生約 50%)
- **性別「その他」**と回答した児童・生徒は「自分らしさを表現することができる」を選択する割合が全体に比べて高い。(約 45%)



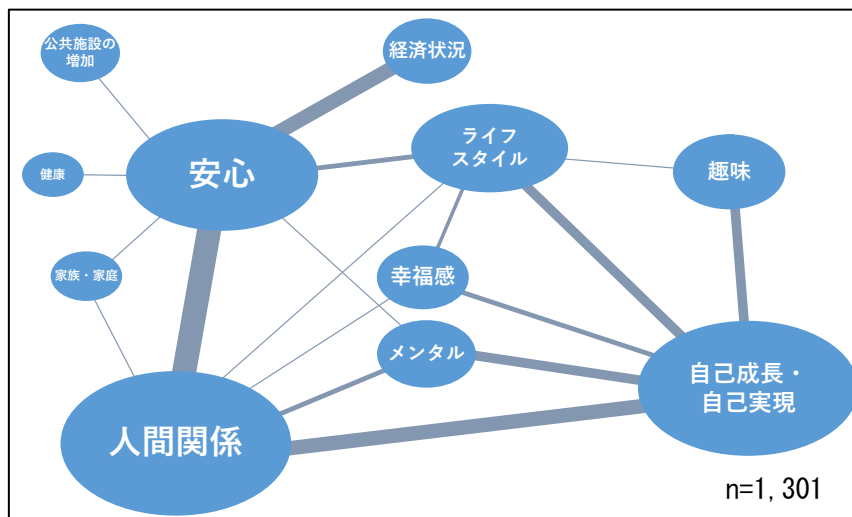
● 自由記述の具体的回答

～安心して自分らしく暮らすために必要なこと～

その他に自分らしく暮らすために必要なことについて回答した人数 1,301 人

記述内容（原文を引用）	主なカテゴリ	学年	性別	世帯人員
みんなを大事にする	● 人間関係 ● 安心	小学5年生	女	3
他人をリスペクトする	● 人間関係	中学2年生	男	3
お金などに困らず生活できる	● 経済状況 ● 安心	小学5年生	女	4
好きなものが見つかって好きなことをできる。	● 自己成長・自己実現 ● 趣味	小学6年生	女	4
人と違うことを怖がらない	● 自己成長・自己実現	高校1年生	女	6

図 カテゴリ間関連度の模式図 ～安心して自分らしく暮らすために必要なこと～



カテゴリの設定・分類

- ①人間関係…どのような人間関係を望んでいるかに関する記述内容
- ②自己成長・自己実現…回答者自身がありたい姿に関する記述内容
- ③安心…安心して過ごすことに関する記述内容
- ④ライフスタイル…理想のライフスタイルに関する記述内容
- ⑤趣味…趣味に励むことに関する記述内容
- ⑥メンタル…ストレス等メンタル面に関する記述内容
- ⑦経済状況…どのような経済状況を望んでいるかに関する記述内容
- ⑧幸福感…幸せに過ごすことに関する記述内容
- ⑨公共施設の増加…公園等公共施設を増やす要望に関する記述内容
- ⑩家族・家庭…両親や兄弟等、家族や家庭に関する記述内容
- ⑪健康…健康に過ごすことに関する記述内容

## (9) 何か大人の人に伝えたいことや県のこども計画に入れてほしいこと

### ● 自由記述の具体的回答

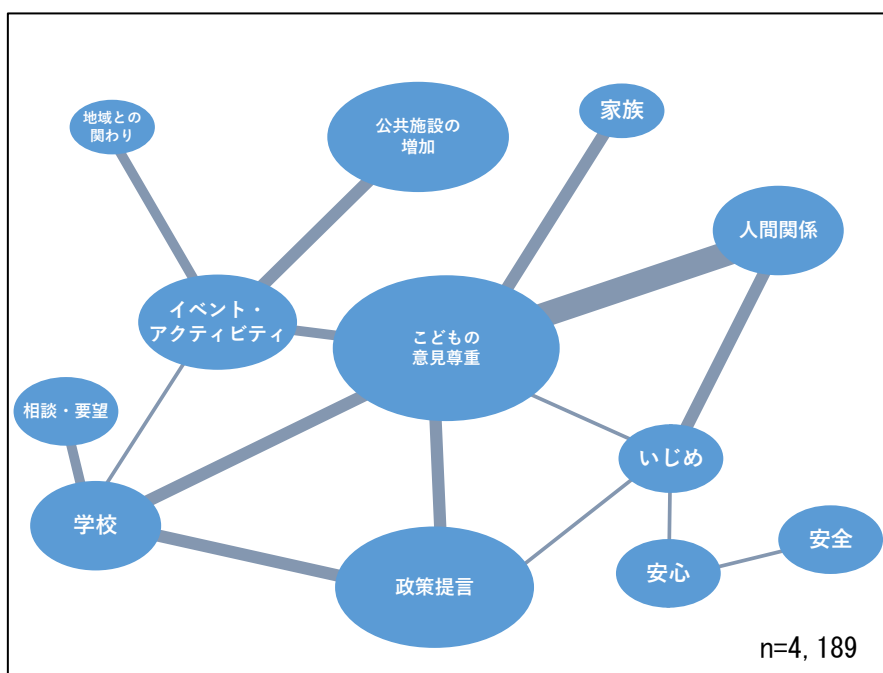
～何か大人の人に伝えたいことや県のこども計画に入れてほしいこと～

何か大人の人に伝えたいことや県のこども計画に入れてほしいことについて回答した人数 4,189 人

記述内容（原文を引用）	主なカテゴリ	学年	性別	世帯人員
自分の意見を押し付けずに、もっと話を聞いてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● こどもの意見尊重</li> <li>● 人間関係</li> </ul>	小学5年生	女	5
大人と子どもが平等な社会にしたい	<ul style="list-style-type: none"> <li>● こどもの意見尊重</li> <li>● 人間関係</li> </ul>	小学5年生	男	4
子供の意見も少し社会に貢献したい	<ul style="list-style-type: none"> <li>● こどもの意見尊重</li> <li>● 政策提言</li> </ul>	小学6年生	男	3
税金の授業をしてください	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校</li> <li>● 政策提言</li> </ul>	中学2年生	男	5
子供向けの社会保障や支援がもっと必要だと思う	<ul style="list-style-type: none"> <li>● こどもの意見尊重</li> <li>● 政策提言</li> </ul>	中学3年生	男	3
公立高校の設備（トイレ、エアコン等々）を整えて欲しいです	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校</li> <li>● 公共施設の増加</li> </ul>	高校2年生	女	3
学校に行けない子が安心できる場所で授業などを受けさせてくれる場所。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校</li> <li>● 安心</li> </ul>	小学6年生	男	4
公園を増やしてほしい	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公共施設の増加</li> </ul>	小学6年生	男	3
無料の塾が欲しい	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公共施設の増加</li> </ul>	高校2年生	女	4
道路をきれいに整備してほしい	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公共施設の増加</li> </ul>	中学2年生	男	4
優しいおとなになりたい	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 家族</li> <li>● こどもの意見尊重</li> </ul>	中学1年生	男	5
親がいなくても普通の暮らしができる環境が欲しいです	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 家族</li> <li>● 地域との関わり</li> </ul>	高校3年生	男	3
運動会で親孝行がないのでやりたい	<ul style="list-style-type: none"> <li>● イベント・アクティビティ</li> <li>● 家族</li> </ul>	小学6年生	女	6
学校外での課外授業を増やす {学校へ行くことへの楽しみが増えるのではと考える}	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校</li> <li>● イベント・アクティビティ</li> </ul>	中学2年生	男	3
SDGsのことをボランティアとして活動する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● イベント・アクティビティ</li> <li>● 地域との関わり</li> </ul>	小学5年生	男	4
命をかけてでも子どものことを守ってほしい	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 安心</li> <li>● 安全</li> </ul>	高校3年生	その他	6
虐待やいじめなどがない県にしてほしいです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● いじめ</li> <li>● 安全</li> </ul>	小学6年生	女	3
なんでも大人に相談できるわけじゃない相談員がいます。でも相談したい事があるのに気軽に相談に行けません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 相談・要望</li> </ul>	中学2年生	女	4
学校の設備が悪いので、なんとかしてください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校</li> <li>● 相談・要望</li> </ul>	高校3年生	男	3
匿名で相談できる掲示板	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 相談・要望</li> </ul>	小学6年生	女	3

図 カテゴリ間関連度の模式図

～何か大人の人に伝えたいことや県のこども計画に入れてほしいこと～



カテゴリの設定・分類

- ① こどもの意見尊重…こどもの意見尊重の要望等に関する記述内容
- ② 政策提言…具体的な政策提案に関する記述内容
- ③ 公共施設の増加…公園など公共施設を増やす要望に関する記述内容
- ④ イベント・アクティビティ…イベントやアクティビティに関する記述内容
- ⑤ 学校…学校生活や教師等、学校に関する記述内容
- ⑥ 人間関係…どのような人間関係を望んでいるかに関する記述内容
- ⑦ 相談・要望…こどもが相談できるサービス等に関する記述内容
- ⑧ 安心…安心して過ごすことに関する記述内容
- ⑨ いじめ…一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じている経験等に関する記述内容
- ⑩ 安全…安全に過ごすことに関する記述内容
- ⑪ 地域との関り…回答者自身の身近な地域に関する記述内容
- ⑫ 家族…両親や兄弟等、家族に関する記述内容